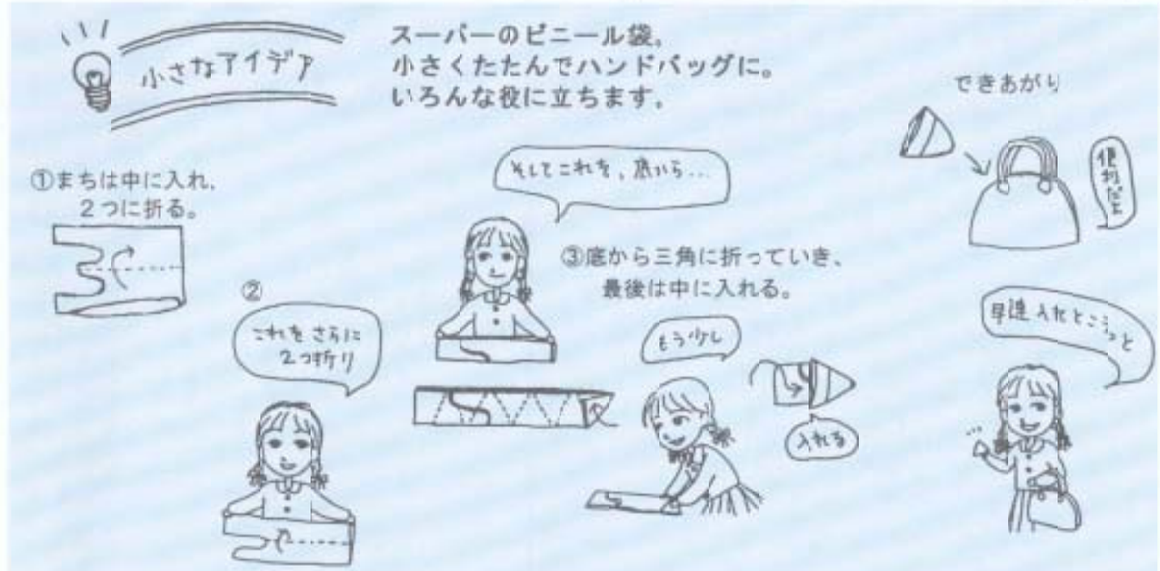
市民サロン

このページは市民の皆さんが作るページです。短歌、俳句、川柳などの文芸作品やどんなことでも結構ですので皆さんのご意見をお気軽にお寄せください。
締め切りは毎月10日です。
あて先は南国市企画課市民サロン係（〒783南国市大埇甲2301）です。

追突「どうもすみません」
古谷栄幸（植田）

小さなアイデア

スーパーのビニール袋、
小さくたたんでハンドバッグに。
いろんな役に立ちます。



南国歌壇

ふる妻のわれにもほのかな夢ありて　夏くれば買う白きパラソル　亀岩　島本　栄
紅白のほたる袋のいじらしさ　緑の中に両後の風吹く　立田　国繁和子
初夏の陽光きらめく国分川　京をとらえし闘歩なす鷺　三島　小笠原綾子
山盛一夜手折り昔が胸に　託して怪きし友の遺らじ　植野　中上百出子
終日を花見の宴の眼はひに　岩かげひそと山吹の花　立田　北村幸江
さわやかな笑顔ほころぶくもりが　あふれて表し丁八馬知三和　浜改田　梅溝富士子

南国柳壇

日の暮れる民家に急ぐ軒雀　十市　武市日出志
雑草もそれぞれ名あり生命あり　十市　八松久幸

南国俳壇

青芝や踏み磨かれし渡り石　上野田　門田郁子
わすれ草とや一岸の花明り　奈路　川村正意
顔と顔すり合はせをる袋角　下島　吉井澄江
死者に手紙あっけらかんと蜉蝣　立田　吉田常光
退院を迫られている柿若葉　片山　大和田昌弘
少しうれしく少しかなしき立夏かな　金地池　さち
鮎刺や狙い外れし羽返す　下末松　松浦智恵子
鯉幟武者絵の幟風の里　後免町　井上さえ
河骨の蕾の固し沼の隅　大埇　小松千都

われらサークル仲間

弘法筆を選ばず

今回は稲生公民館で活動している「習字クラブ」を紹介します。

「習字クラブ」の練習日は毎月第一第四木曜日の午後七時三十分から。生徒数は現在二十歳代から七十歳代の九人で、始めて二年目の人や八年前のスタート時から続けているベテランの方などさまざまです。

「書道というものは果てしがなく、深みがあるもの。練習すればするほど表現ができるようになります。だから止めずに続ける努力が必要なんです」と指導にあたっているのは、書道界では県下的に有名な弘末映翠先生。

生徒たちは先生のお手本をもとに、筆のはらや先を使い、丁寧に字をかいていきます。それを弘末先生が見て回り、直接生徒の筆を握って分かりやすく指導。

「頭ではわかっているのに、思うように書けなくて…。何年やっててもダメ。でも必になんとなく楽しいんです。やっぱり好きだからかな」と生徒の皆さん。字を書くときは真剣ですが、冗談交じりで和気あいあいの楽しいクラブです。

最後にクラブから一言。

「習字に興味のある方、どなたでも大歓迎です。参加してみませんか。連絡先はJA稲生支所の豊永まで」

このコーナーでは、同じ趣味を持った方たちの楽しい活動風景を紹介しています。「私たちのサークルを取材してほしい」と思われる皆さん、ぜひご応募ください。

◪応募方法　サークルの代表者の氏名、住所、電話番号、活動場所、それに活動内容を簡単に明記

◪あて先　〒783南国市大埇甲二三〇一　南国市企画課広報統計係

親子クイズ 155

これはなんでしょう

答えについての思い出などもお待ちしています。

◪しめきり　7月12日(月)

◪あて先　〒783　南国市大埇甲二三〇一　南国市企画課　親子クイズ係

◪賞品　正解者の中から抽選で5人に図書券を進呈

◎第154回親子クイズの答えは、てるてるぼうずでした。

第154回当選者発表（敬称略）
（応募総数14通）

武政桂子（大埇）
西山幸一郎（大埇）
西森佳代（後免町）
岩城みか（緑ケ丘）
野口幸子（久礼田）

思い出がいっぱい

◆学生のころは遠足や修学旅行の前の晩に、彼ができたころはデート、の前の晩に♡主婦となった今は洗濯物を気にして雨の降りそうな前の晩……？年をとったなぁ～

◆子どものころ、遠足の前の日はウキウキしているのに天気予報なんかで雨とか聞くと、よくてるてるぼうずをいくつも作って晴れになるのを願っていました。

願いもかなわず雨になっても、首をちょん切ることはかわいそうで、できなかったことを思い出します。

◆小学生のころ、遠足の前日はお菓子を買ったあと必ずてるてるぼうずを作って軒下につるすのが楽しみでした。

偶然だったのでしょうけどいつも次の日は晴れてました。

◆子どものころよく作りました。軒下につるしたらそのままで、作るたびに数がふえて、たくさん並んでいた覚えがあります。

◆わたしは中学校の修学旅行の前日、生まれて初めててるてるぼうずを作りました。そのかいあって当日の朝は快晴！とてもうれしかったことを今でも覚えています。